

「食への正しい理解ができ、食事を楽しむことができる子ども」を目指して

毎日の給食は、子どもたちに必要な栄養とカロリーを計算して、献立を立てています。そういう意味では、出された給食は残さずに食べてほしいと願われることでしょう。お子さんによっては好き嫌いがあったり、今まで口にすることがないような食材は抵抗があるなど、なかなか最初から何でも残さずに食べるということは難しいのです。

園では、健全な生活の基となる「食育」に力を入れています。栽培活動を通して食材に興味を持たせたり、保育の中でも保育士が自らおいしそうに食べる姿を見せたりするなど工夫しています。また、場所を変えて友達と一緒に食べることによって食事に興味を持ったり、教材を使って食の大切さを伝えたりと子どもたちが食事を楽しめるようにさまざまな取り組みを行っています。

栽培・・・身近な自然にかかわり、世話をする中で収穫の時期に気づきます。料理との関係を考え、食材に対する感覚を豊かにします。栽培を通じていのちを大切にすることを育てます。

園庭ランチ・・・戸外などで食事を楽しみます。(みかん組、かりん組) また、お弁当づくりにかかわることで盛り付けを楽しんだり、調理器具の使い方を学んで料理に対する興味・関心を育みます。(かりん組)

バイキング・・・いつもと違う雰囲気を味わいながら、友達と一緒に食事をするを楽しみます。(かりん組)

食器・・・家庭の雰囲気を大切にするため、陶器の食器や木のお椀(かりん組)を使います。